

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月12日

【四半期会計期間】 第66期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 不二ラテックス株式会社

【英訳名】 FUJI LATEX CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 伊藤 研 二

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目19番地 1

【電話番号】 03(3293)5681(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 執行役員 財務部長 畑 山 幹 男

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目19番地 1

【電話番号】 03(3293)5686

【事務連絡者氏名】 財務部係長 岡 本 和 大

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期	第66期	第65期
		第2四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第65期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	3,213,927	3,230,382	6,170,877
経常利益	(千円)	145,005	220,524	268,301
四半期(当期)純利益	(千円)	84,783	138,659	158,962
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	83,825	148,436	180,093
純資産額	(千円)	2,061,344	2,242,098	2,157,546
総資産額	(千円)	8,141,356	8,356,094	8,163,211
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	6.66	10.90	12.50
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	25.3	26.8	26.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	422,845	184,968	260,167
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	63,880	75,036	144,182
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	343,388	8,770	265,248
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,030,405	1,146,334	1,037,236

回次		第65期	第66期
		第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	0.60	5.19

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな景気回復が継続し、欧州では一部に改善の動きが見られたものの引き続き低調で、中国をはじめとする新興諸国においても経済成長が鈍化する等、先行きの不透明な状況が続いております。国内経済は経済政策や金融政策への期待感から株価上昇、円安基調となり輸出環境の改善や国内生産の増加、設備投資に底堅さが見られる等、緩やかに回復してきております。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、32億3千万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(0.5%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は、2億4千6百万円と前年同四半期と比べ7千万円(39.7%)の増益となりました。経常利益は、2億2千万円と前年同四半期と比べ7千5百万円(52.1%)の増益となり、四半期純利益は、1億3千8百万円と前年同四半期と比べ5千3百万円(63.5%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

医療機器事業

主力の国内コンドームは、継続的かつ中心的な戦略として位置づけている販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストア開拓をより重点的に推進しました。常態化した価格競争に伴う価格低下圧力は依然として激しく、原材料全般の継続的な価格高止まりにより収益両面ともに引き続き厳しい展開が続きました。また、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、10億4千2百万円と前年同四半期と比べ6千7百万円(6.1%)の減少となりました。

セグメント利益は、原材料費のコストアップを生産合理化で吸収しましたが、3千9百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.5%)の減益となりました。

精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、国内市場において一部の市場を除き受注は堅調に推移しました。主要な市場として位置付け、開拓深耕を続けている住宅設備関連の受注は堅調に推移し、自動車関連、家電の分野でも受注に回復傾向が見られましたが、産業用の分野においては本格的な回復には至りませんでした。海外市場では、大手取引先のある欧州の景気低迷の影響もあり受注は伸び悩みましたが、前年を上回る実績となりました。

この結果、売上高は、19億円と前年同四半期と比べ1億5千8百万円(9.1%)の増加となりました。

セグメント利益は、売上高の増加により4億円と前年同四半期と比べ7千6百万円(23.6%)の増益となりました。

SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場のニーズ多様化と市場の縮小が続きました。前期より続く広告販促活動・イベント等に回復の傾向が見え、テーマパークでの集客回復等のプラス要因もありましたが、ヘリウムガスの供給不足が続く中、依然として厳しい市場環境となりました。

この結果、売上高は、2億1千7百万円と前年同四半期と比べ7千2百万円(25.1%)の減少となりました。

セグメント損益は、2千1百万円の損失で前年同四半期と比べ1百万円(%)の減益となりました。

その他

売上高は、7千万円と前年同四半期と比べ1百万円(2.2%)の減少となりました。

セグメント損益は、2百万円の損失で前年同四半期と比べ8百万円(%)の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、83億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億9千2百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の1億9百万円の増加と受取手形及び売掛金の1億8千7百万円の増加によるものであります。

負債総額は61億1千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億8百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の4千7百万円の増加と未払法人税等の4千5百万円の増加や長期借入金の8千1百万円の増加によるものであります。

純資産総額は22億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ8千4百万円増加しました。主な要因は、配当金の支払いによる6千3百万円の減少はありましたが、四半期純利益の1億3千8百万円の増加により利益剰余金が7千5百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は26.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11億4千6百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1億1千5百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1億8千4百万円(前年同四半期は4億2千2百万円の支出)となりました。

資金の主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の2億1千4百万円、減価償却費の8千9百万円、仕入債務の増加4千6百万円などによります。主な減少要因は売上債権の増加1億8千7百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ1千1百万円増加し、7千5百万円となりました。

支出の主な要因は有形固定資産の取得5千5百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、8百万円(前年同四半期は3億4千3百万円の収入)となりました。

支出の主な要因は長期借入による6億円の資金調達がありましたが、長期借入金の返済5億2千2百万円、配当金の支払い6千3百万円、リース債務の返済2千万円などによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、8千6百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,861,992	12,861,992	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	12,861,992	12,861,992		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		12,861,992		643,099		248,362

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
岡本和子	埼玉県春日部市	1,966	15.29
岡本昌大	東京都豊島区	1,356	10.55
岡本和大	埼玉県春日部市	1,229	9.56
岡本明大	東京都荒川区	1,040	8.09
不二ラテックス共栄会	東京都千代田区神田錦町3-19-1	561	4.36
(株)りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	400	3.11
岡本正敏	東京都港区	331	2.58
森貴義	東京都新宿区	300	2.33
(株)大木	東京都文京区音羽2-1-4	275	2.14
オカモト(株)	東京都文京区本郷3-27-12	268	2.08
計		7,728	60.09

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 143,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,453,000	12,453	
単元未満株式	普通株式 265,992		
発行済株式総数	12,861,992		
総株主の議決権		12,453	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が894株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 不二ラテックス株式会社	東京都千代田区神田錦町 3-19-1	143,000		143,000	1.12
計		143,000		143,000	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、明和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,384,636	1,493,734
受取手形及び売掛金	1,684,416	1,871,818
商品及び製品	747,897	611,517
仕掛品	430,525	502,391
原材料及び貯蔵品	541,540	574,510
その他	116,480	90,206
貸倒引当金	409	452
流動資産合計	4,905,087	5,143,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	829,632	807,956
土地	1,469,852	1,469,852
その他(純額)	423,776	396,776
有形固定資産合計	2,723,261	2,674,585
無形固定資産		
	47,208	52,223
投資その他の資産		
その他	479,460	478,442
貸倒引当金	2,628	2,587
投資その他の資産合計	476,832	475,854
固定資産合計	3,247,301	3,202,664
繰延資産	10,822	9,702
資産合計	8,163,211	8,356,094
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046,694	1,094,075
短期借入金	808,000	816,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	958,215	954,435
未払法人税等	8,031	53,157
賞与引当金	109,408	98,645
その他の引当金	-	4,897
その他	272,115	245,011
流動負債合計	3,222,465	3,286,222
固定負債		
社債	480,000	470,000
長期借入金	1,578,270	1,659,460
退職給付引当金	328,526	319,425
その他	396,402	378,887
固定負債合計	2,783,199	2,827,772
負債合計	6,005,665	6,113,995

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	966,738	1,041,797
自己株式	29,870	30,154
株主資本合計	1,828,330	1,903,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,060	29,244
土地再評価差額金	301,221	301,221
為替換算調整勘定	933	8,527
その他の包括利益累計額合計	329,216	338,993
純資産合計	2,157,546	2,242,098
負債純資産合計	8,163,211	8,356,094

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,213,927	3,230,382
売上原価	2,404,467	2,383,220
売上総利益	809,459	847,161
販売費及び一般管理費	¹ 632,704	¹ 600,273
営業利益	176,755	246,887
営業外収益		
受取利息	404	259
受取配当金	2,860	2,922
受取賃貸料	7,652	7,973
その他	4,174	4,927
営業外収益合計	15,092	16,083
営業外費用		
支払利息	36,059	31,650
賃貸費用	3,170	3,165
その他	7,612	7,629
営業外費用合計	46,842	42,446
経常利益	145,005	220,524
特別損失		
固定資産除却損	694	6,518
特別損失合計	694	6,518
税金等調整前四半期純利益	144,310	214,006
法人税、住民税及び事業税	3,391	49,768
法人税等調整額	56,136	25,579
法人税等合計	59,527	75,347
少数株主損益調整前四半期純利益	84,783	138,659
四半期純利益	84,783	138,659

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,783	138,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,211	2,183
為替換算調整勘定	1,253	7,593
その他の包括利益合計	957	9,776
四半期包括利益	83,825	148,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,825	148,436
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144,310	214,006
減価償却費	83,489	89,492
貸倒引当金の増減額(は減少)	141	1
賞与引当金の増減額(は減少)	6,350	10,787
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,331	9,253
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	230,181	-
その他の引当金の増減額(は減少)	9,656	4,897
受取利息及び受取配当金	3,265	3,182
支払利息	36,059	31,650
社債発行費償却	1,150	1,119
有形固定資産除却損	694	6,518
売上債権の増減額(は増加)	42,714	187,103
たな卸資産の増減額(は増加)	65,100	31,620
仕入債務の増減額(は減少)	165,466	46,938
その他	60,652	2,032
小計	222,414	217,952
利息及び配当金の受取額	3,265	3,182
利息の支払額	36,059	31,650
法人税等の支払額	167,636	4,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,845	184,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	56,671	55,232
有形固定資産の除却による支出	-	6,476
無形固定資産の取得による支出	3,928	11,063
投資有価証券の取得による支出	2,273	1,918
その他	1,007	345
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,880	75,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	412,000	8,000
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	488,972	522,590
社債の償還による支出	-	10,000
リース債務の返済による支出	15,740	20,450
自己株式の取得による支出	374	283
配当金の支払額	63,523	63,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	343,388	8,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,348	7,936
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	141,988	109,098
現金及び現金同等物の期首残高	1,172,393	1,037,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,030,405	¹ 1,146,334

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
受取手形	37,536千円	
支払手形	216,752 "	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
給料及び賞与	173,751千円	173,567千円
賞与引当金繰入額	38,490 "	31,200 "
役員退職慰労引当金繰入額	3,518 "	
退職給付費用	20,649 "	23,387千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
現金及び預金	1,377,805千円	1,493,734千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	347,400 "	347,400 "
現金及び現金同等物	1,030,405千円	1,146,334千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月15日 取締役会	普通株式	63,615	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の未日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	63,600	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の未日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	1,109,518	1,742,282	289,976	3,141,777	72,149	3,213,927		3,213,927
セグメント 間の内部売上 高又は振替高								
計	1,109,518	1,742,282	289,976	3,141,777	72,149	3,213,927		3,213,927
セグメント利益 又は損失()	39,920	324,519	19,925	344,514	5,432	349,947	173,191	176,755

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 173,191千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	1,042,252	1,900,398	217,196	3,159,847	70,535	3,230,382		3,230,382
セグメント 間の内部売上 高又は振替高								
計	1,042,252	1,900,398	217,196	3,159,847	70,535	3,230,382		3,230,382
セグメント利益 又は損失()	39,738	400,954	21,637	419,055	2,766	416,289	169,401	246,887

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 169,401千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円66銭	10円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	84,783	138,659
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	84,783	138,659
普通株式の期中平均株式数(株)	12,721,503	12,718,893

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

不二ラテックス株式会社
取締役会 御中

明和監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	高	品	彰
業務執行社員	公認会計士	鈴	木	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二ラテックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二ラテックス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。